



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：池永 隆司 / 副会長：八重野 一洋 / 幹事：宮崎 正典



2020～2021年度クラブスローガン

『和衷協同』
地域のために。そして未来のために。

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：吉野英樹、山口裕之、福田英彦、鶴田明敏
西村浩輝、古川直記、岡田文俊、崎山信幸本日の出席率83.72%：会員数47名・出席29名・欠席7名・出席規定免除会員7名・ビジター0名
前々回の修正出席率100%：出席35名・出席規定免除会員9名

会長挨拶 / 池永 隆司君



今日は、五か月振りの夜の例会です。先週より例会時間をこれまで通りに戻しています。近年この時期になると、毎年のように雨による被害が出ておりますが、先週末からの九州豪雨により、九州各県で甚大な被害が出ており、その豪雨が本州にも広がり、

熊本県を中心に九州だけでも60名の方が亡くなられております。心からお悔やみ申し上げます。そしてこれからも大雨の予報が出ておりますので、皆様も十分に警戒して頂きたいと思っております。

さて先週は、昼が第一回目の例会で、その夜は、パスト会長・幹事による「直前会長・幹事、現会長・幹事慰労激励会」をして頂きありがとうございました。皆様から会長・幹事当時のお話しをして頂きましたが、一度マイクを持つと中々離さない方もいらっしゃいました。皆様のお話を総合すると、クラブの運営は幹事に任せて、会長は、お金は出しても、口は出さない方が、上手く行くと言うような事を話されておりましたので、肝に銘じたいと思っております。例年ですと、市内8ロータリーの会長・幹事会が、3月・5月・7月と二カ月に一度開催され、7月の第1回目の例会に、会長・幹事がビジターで訪問する様な事をされておりましたが、新型コロナの影響でそういう事もいっさい出来ず、他のクラブの様子もお話しできない現状です。

2009年、井上さんが会長をされた時、市内8ロータリーの最初の会合で、お酒無しで会議をしようという提案に、井上さんが懇親を深めるには、お酒は外せないといわれ、それ以来、何年もその会長・幹事会が行われた事が、懐かしく思い出されます。やっと、来週の13日に市内8ロータリー会長・幹事で、市長表敬訪問にいつて参ります。早く今までの日常に戻ってほしいと願っています。

6日、月曜日には奉仕プロジェクト委員会、社会奉

仕・青少年奉仕委員会の初顔合わせが行われました。大雨の中開催され、メンバーの藤井君は、仕事の関係で市外におり移動することが出来なくなり、やむなく欠席されましたが、多数の委員会メンバーの方が出席されておりました。今後の対外事業の活動について、コロナ禍ではありますが、発展的な意見がたくさんでございました。今後の活動に期待しております。各委員長の皆さんも、本年度のクラブ目標の一つに、委員会の活発化をあげておられますので、ウイズコロナではありますが、是非委員会を開催して頂きたいと思っております。

本日は、第一回クラブ協議会です。一年間の活動計画をお話ししますので、役員・理事の方々よろしくお願ひします。

Report

幹事報告 / 宮崎 正典君

1. 来信

■ガバナー事務所

・「第19回ロータリー全国囲碁大会」のご案内

■佐世保ロータリークラブ

・市長表敬訪問について

■佐世保北ロータリークラブ

・例会開催のお知らせ 8月通常通り開催

■ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

・2020-2021年度幹事交代のお知らせ

旧) 橋口 久 プライアント株式会社

新) 舩元 淳子

特定非営利活動法人ステップアップステーション



ニコニコボックス

池永 隆司会長・八重野 一洋副会長・宮崎 正典幹事

皆さんこんばんは。久しぶりの夜例会です。50年に一度の大雨というフレーズを毎年当たり前のように耳にするようになってしまいました。今回の九州豪雨で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。想定外の出来事に備える大切さを痛感させられます。さて、本日の例会は第1回クラブ協議会です。各委員会の1年間の方向性を示していただきます。会員の皆様は、本年度の理事役員の意気込みをじっくりとお聞きください。本日もどうぞよろしくお願い致します。

前田 眞澄君

本日は、第1回クラブ協議会です。クラブ管理運営委員会グループ、本田クラブビジョン委員長、片桐親睦例会委員長、倉科式典例会委員長、ともどもよろしくお祈りします。

田添 直記君

先週お詫びをするのを忘れていたので今週させていただきます。先日の中央会の時、私の前の組だった井上さん、池永さん、平岩さん、宮崎正典さん、ボールを打ち込んでしまい申し訳ありませんでした。皆さんを動揺させてしまい、優勝のチャンスを奪ってしまいました。ごめんなさい。

片桐 康利君

本日より、非接触型の体温計で入場の際、皆様のご協力をいただいております。ありがとうございます。今後もマスク消毒とよろしくお祈りします。

本日の合計	9,000円
本年度の累計	121,000円



本日の卓話

◆第1回クラブ協議会◆
委員会計画について

SAA 馬場貴博委員長

本年度はコロナウイルスの影響にてどのような例会運営ができるのか不安ではありますが例会会場の設営には最善の注意を払うようにします。

マスク・入場時の消毒液の準備・体温の確認等の準備を行って頂き会員の感染を防ぐべく例年とは違う体制を整えます。

1. 例会場入場時に体温の検査を行う
2. 入場時にはマスクを使用していただく
3. 入場時には消毒液にて手を消毒していただく
4. 健康に不安のある方は御自身で出欠を判断していただき出席免除とする



クラブ管理運営委員会

前田 眞澄 委員長

本年度30周年を迎えるクラブとして計画されている事業、行事がスムーズ且つ有意義に遂行される事を目的とした活動を行います。30周年のクラブ活動が成功裏に終わることで、これまで築き上げてきた30年間の佐世保中央ロータリークラブの伝統やクラブ内外における活動や功績、そしてその評価と責任を検証し、今後5年間におけるクラブの短、中期のビジョンを会員皆で考えて頂く機会をご提供させていただき、総体的な指針を策定していきます。

クラブ管理運営委員会の担当する3委員会の委員長・委員会の意向、企画、運営を基本的に尊重していきたいと思えます。と並行して理事会の意向との調整を密に図り、時勢やクラブの状況に柔軟に対応しクラブとして「今」におけるベストは「何か」を優先判断として進めていきます。

クラブビジョン委員会は会長エレクトが委員長の委員会でありますので、直近の次年度の指針、活動計画の立案をベースにその先の未来に向けて、「魅力あるクラブ」を作っていく為の原案作りに尽力したいと思います。

親睦例会活動並び式典例会・出席の両委員会はそれぞれの担当する事業活動を中心に行うとするも、共に親睦系委員会として協調協力体制を作りたいと思えます。

親睦例会委員会は「好意」という言葉をキーワードに事業を通してクラブ会員の友情と会員家族との親睦をより深めていきたいと思えます。

式典例会・出席委員会は主に式典系事業という性質上、「伝統」・「品位」を持ち合わせた親睦交流の場を作りたいと思えます。また、近年懸念される出席率の低下にどの様に対応し改善していけるのかを試行していきたいと思えます。



クラブビジョン委員会

本田 実 委員長

創立30周年の年を迎え諸先輩の方々が作り上げてきた佐世保中央ロータリークラブの伝統と魅力を今後伝えていけるように努力していきたいと思えます。

新しく入会された会員も増えてきているため、ロータリーを良く理解してもらうためのセミナー、ロータリーの歴史や用語などを説明していく情報を提供していきます。



親睦例会活動委員会

片桐 康利 委員長

会員間の好意ある行動による友情かつ会員家族との親睦を深めていくことにより、より良いクラブ活動を行うことができます。



当委員会は、「好意」を基本的な指針として、会員間で友情を深め、各委員会と協力し連携を図りながら、会員のご家族と親睦を深め、29年間のクラブ活動にご尽力頂いた方々に感謝をし、親睦事業及びクラブ活動を計画実行します。

式典例会・出席委員会

倉科 聡一郎 委員長

創立30年目を迎えるクラブとしてこれまで培って来た伝統とクラブの個性を重んじると共に近代クラブとしての感性を持ち合わせた式典の企画・運営を行います。また、正確な出席報告を行い、会員に出席率動向を念頭に入れ少しでも出席率が向上するような報告を行います。



1、「会長副会長幹事交代式」では、創立30年目を迎える年度に相応しい式典を行います。会員及びご出席頂いたご夫人、ご来賓の方々に節目の年度の始まりを期待して頂けるような式典を開催します。

2、「新年会」は新年を迎え、創立30周年の活動がますます活発化していくために会員一同が集いお祝いしたいと思います。

3、出席報告では正確に出席報告を行い、出席意識向上に繋がるような報告を心がけ取り組みます。

4、上記事業目標を達成し、例会における役割をしっかりと担っていく為にも、委員会や例会に当委員会の会員出席率を向上させ、創立30周年の年度に取り組んでいきたいと思ひます。

公共イメージ・会報委員会

吉野 英樹 委員長

クラブの活動をメンバー一丸となって、会報・ホームページその他のメディアを利用して積極的に拡散させていきます。

クラブの活動状況を巷間に広く浸透させることは、ある意味活動自体よりも重要だと感じています。認知されることにより、理解され制約も少なくなり、より多くの協力を得られる。活動の幅や規模を拡大できるはずで、反面、不用意な一言があらぬ方向へと独り歩きして意図しない結果を招くこともあります。

重責であることを肝に銘じ、メンバーの協力の下、些事にも気を配りながら、一年間クラブのイメージアップを行っていきます。



会員増強委員会

井手 陽一 委員長

創立30周年にむけて、毎年確実に会員が増加している流れにのり、まずは入会候補者の情報収集を積極的におこない、目的である



『奉仕の理念』をご理解いただける方を1人でも多く獲得していきたいと思ひます。

- ・定期的な委員会をおこない入会候補者情報等の発掘
- ・会員からの情報をいただき、候補者の例会体験、オープン委員会の開催
- ・JC・YEG等団体からの入会候補者の情報収集
- ・目標総会員数55名を目標とする

職業奉仕委員会

本田 実 副委員長

当初、職業関連の職業訓練生やインバウンド効果を主軸に海外に秀でた佐世保中央RCでの雇用に関する改革事項を施策していた。しかし、パンデミックなどのコロナウイルスの拡散に伴い、国は経済優先から健康優先へと切り替えようとしている。経済優先した場合、会長幹事交代式まで、感染者20万人、死者5,000人、4月中旬に健康優先へと切り替えにより、感染者4万人、死者2,000人程度に抑えると推測するが、治療薬やワクチン開発まで少なく1~1.5年程度の期間を要する(アビガンは治療薬ではないが、初期から感染者全員に投与可能になれば副作用は不明であるが、重症への移行は抑えられるであろう)。

仮に、現在の第一波感染抑制がなされたとしても第二波への対処と次なる経済・医療への政治決断(貸付料や返済延期、消費税など)が不可欠であるが、遅すぎる。おそらく年内に国内300万人、佐世保市6,000人の雇用喪失と次年度からの公共事業の大幅な縮小が懸念される。

本年は、解決策として政治決断に並行して自営業本業と分業の2点から考えていきたい。



社会奉仕委員会

岡 光正 委員長

本年度当クラブは、創立30周年を迎えます。大きな活動の指針は、青少年奉仕委員会と連携し、30周年のメインとなる「対外事業」を行います。また、昨年度に続き地区補助金を活用した新たな「交流事業」を行います。

昨年までの奉仕プロジェクト事業を継承し、地域社会との連携や交流をより深めて参ります。30周年のメインとなる対外事業では、新たな連携と継続性を持たせた事業を行います。また、旭川空港ロータリークラブとの関係をより深めるために、創立30周年を機に「友好クラブ」としての連携を目指したいと思ひます。



